

8月以降に開催するイベント・講座情報をご紹介します。
地域活動の運営に役立つ講座を今後も開催予定です。「こんな
テーマの講座やイベントを開催してほしい」というご希望があれば、
ぜひサポートオフィスにお寄せください。

8/3 (木)
10:00～17:00

地域活動団体がいつでも交流し学び合える場 まちカフェ!オープンデー

【会場】市役所2階市民協働おうえんルーム

講座のみ
要予約



毎月第1木曜日に開催(祝日の場合は第2木曜日)に開催しているまちカフェ!オープンデー。
この日は、サポートオフィスのスタッフが終日おりますので、まちカフェ!以外の地域活動について
のご相談も承ります。また、毎月地域活動に生かせるテーマを学び合う場(プチ講座)も開催します。
団体のスキルアップの場に、そして団体同士の繋がり場としてもぜひご利用ください。



▲団体の定例会会場としてもご利用いただけます。

8月のプチ講座「参加したくなるイベントちらし作り講座」

「本当にイベントに来て欲しい人」を考
え、その人に応募してもらえらるチラシ作
りのコツを学びます。デザインに自信が
なくても大丈夫です。チラシ作りの(基
本のき)と一緒に学びましょう!

こんな方に
おすすめです

- ✓ 広報を任されているけど、
チラシ作りが我流になり不安な方
- ✓ チラシ作りの流れを知りたい方
- ✓ 集客力のあるチラシを作りたい方



9/9 (土)
13:30～16:00

調べるちから、伝えるちからを身につける ～「簿書」でもいいから、白書を作ろう!～

【会場】ぽっぽ町田 地下1階 会議室1・2

要予約



白書というと「財政経済白書」、「環境白
書」、「埋蔵文化財白書」など数百ページ
を超えるものをイメージしますが、本講
座では、数ページの「簿書(はくしょ)」で
もいいから「白書」を出そうをテーマに、
白書を出す意義、白書の構成、白書のま
とめ方、白書活用方法などを具体的に
お伝えします。サポートオフィススタッフ
が講師のお話をより理解するための橋
渡し役として、テーマを深掘りするトーク
セッションも実施します。

講師: 川北秀人氏

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 兼 ソシオ・マネジ
メント 編集発行人。市民団体のマネジメントや、企業の社会的責任
(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協
働の基盤づくりを進めている。



こんな方に
おすすめです

- ✓ 取り組む課題についてより多くの人に理解してもらいたい
- ✓ 助成金申請書などで取り組む課題を
具体的に記載することで説得力を高めたい
- ✓ 今後取り組む課題についての政策提言をすすめたい

一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

042-785-4871 月～金 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

●JR横浜線町田駅から(徒歩約5分) 小田急線町田駅から(徒歩約8分)

●お車で越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください

相談
無料

事前
予約制

公式SNS 更新中



www.machida-support.or.jp



町田市地域活動
サポートオフィス

まちだづくりのコミュニケーション誌

サポートオフィス 通信

2023
July
Vol. 39

Now

第17回町田市市民協働フェスティバル
「まちカフェ!」実行委員会、発足!

Topics

地域活動に活かすSDGs

Information

イベント・講座開催情報

まちカフェ!の運営を力強く推進して
くださる本年度のまちカフェ!実行委
員会役員の皆さん。左から大月徹氏
(副実行委員長)、内堀章子氏(実行
委員長)、前田知子氏、広田悠大氏
(副実行委員長)、東野至氏(監事)。



Now

近況報告

第17回町田市市民協働フェスティバル 「まちカフェ!」実行委員会、発足!

町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」(通称 まちカフェ!)は、市内
で活動するNPO、市民・地域活動団体、ボランティアなどが実行委員会を組織
して開催するイベントです。実施期間中は、市役所会場を中心に、多様なイベ
ントが開催されます。

6月15日に行われた第1回まちカフェ!実行委員会全体会議の前半では、
「夢の名刺を作ろう」と題した自己紹介ワークショップ後、開催概要、会則、協
定書、予算書の説明を行い、参加者の過半数の承認を得て、実行委員会が
発足しました。後半では、今年度のまちカフェ!のテーマを考えて共有する時
間を取り、まちカフェ!の理解や参加者同士の交流を深めました。

今年度のまちカフェ!の特筆すべき点は、初参加団体がすでに10団体を
越えていることです。事務局を務めるサポートオフィスとしても、まちカフェ!
が地域活動団体のみなさんにとって新しい挑戦や出会いの場となり、そして
これから地域活動をやってみたいと考えている方にとってはその最初の一步
の場となるよう、努めて参ります。



▲会場となった市役所3階の会議室には、初参
加の方14名を含む、98名の方にご参加いた
だき、活気のある全体会となりました。

今年のテーマ

町田には+がいっぱい
未来に×新たな出会い

開催概要

開催期間	12月2日(土)～12月10日(日)
開催場所	市役所・市内各地の会場 およびオンライン
開催体制	
主 催	まちカフェ!実行委員会 (参加団体とボランティアで構成)
共 催	町田市市民部市民協働推進課
事 務 局	町田市地域活動サポートオフィス

「まちカフェ!」の主な参加・応援方法

団体に所属している方も所属していない方も、
企業の方も様々なスタイルで参加いただけます。

詳しくは、
こちらからどうぞ!



Join 1

イベントを開催 7月31日(月)締切!

市役所、市内各地の会場、オンラインで主催イベント
を開催します。今後団体で本格的に実施したい事業
のチャレンジの場としても活用OK。他団体との協働
開催もおすすめです!

Join 2

おうえん隊(運営ボランティア)として参加

各プロジェクトの企画や運営、チラシ発送、設営や会
場案内等を行うボランティア活動です。数時間～1日
からできる参加スタイルもあるので、地域活動の最初
の一步におすすめです。

Join 3

協賛で応援

まちカフェ!の運営を支える寄付や協賛(一口当たり
個人1,000円/法人・団体5,000円または開催会場
のご提供等)を募集しています。運営活動費として大切
に使わせていただきます。

地域活動に活かす SDGs



1 SDGsをより良く理解するためのキーワード

SDGsの目指すゴールは、 「未来の子どもたちにツケを回さない！」

SDGsとは持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略で、17のゴール(目標)と169のターゲット(達成目標)を設定し、2030年の達成期限に向けて日本でも各所で取り組みが加速しています。「持続可能」とは、国連では「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求を満足させること」と定義されています。入澤さん流にかみ砕いて言うと「**自分たちだけが好き勝手にやって、未来の子どもたちにツケを回しちゃダメよ!**」。SDGsの目指す方向がイメージできますね。

「誰一人取り残さない」

SDGsのキャッチコピーとして有名なこの言葉は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の前文に書かれています。社会的マイノリティと呼ばれている子ども、高齢者、障がい者、LGBTQ、難民、移民、先住民等、声をあげにくく、気づかれにくい方の困りごとに目を向けて、寄り添っていくことが重要だと示しています。入澤さんによると、「誰一人取り残さない」社会を実現するには、「change(変える)」にとどまらず、「**transform(社会の仕組みそのものも「一変させる、すっかり変える、変革する」)**」が必要だとのこと。活動の在り方も、「今までこうやってきたから」ではなく、「新しいやり方」に挑戦することが求められています。

すべてのゴールは繋がっている

01 SDGsウェディングケーキモデル

17のゴールを「環境」「社会」「経済」の3層に分けてウェディングケーキに見立て、その関係性を表現したモデルです。**全ての土台が「環境」で、その上に「社会」「経済」が成り立っていることを説明しています。**「私たちの活動に環境問題は関係ない」と思わず、どんな活動であっても環境問題へ関心を寄せることが大切ですね。

SDGsウェディングケーキモデル



(出典:ストックホルムレジリエンスセンター)

SDGsが掲げている17のゴールをカテゴリーごとに整理すると、全てのゴールが相互に連携していることが理解しやすくなります。ここでは、入澤さんの講座でも紹介された2つの整理方法をご紹介します。

02 5つのP

17のゴールを「人間(People)」「豊かさ(Prosperity)」「地球(Planet)」「平和(Peace)」「パートナーシップ(Partnership)」と5つのテーマに分けて整理する考え方です。日本ではSDGsの達成に向けこの5つのPに基づいて8つの優先課題を掲げています。17のゴールと関わり多く感じますが、**下記の優先事項から日々の活動にも活かせる視点を探すのもおすすめです。**

People 人間	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現 健康・長寿の達成
Prosperity 繁栄	<ul style="list-style-type: none"> 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
Planet 地球	<ul style="list-style-type: none"> 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
Peace 平和	<ul style="list-style-type: none"> 平和と安全・安心の社会の実現
Partnership パートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> SDGs実施推進の体制と手段

毎月第1木曜日、市役所2階の市民協働おうえんルームで開催している「まちカフェ! オープンデー」は、地域活動団体がいつでも交流し学び合える場です。6月のまちカフェ! オープンデーでは「まちカフェ! に活かすSDGs基礎講座」を実施。SDGsの基礎から、活動の参考になる具体的な実践事例まで、SDGsが身近に感じられるような、分かりやすく親しみやすいお話をしていただきました。ここからはその中で紹介いただいたSDGsの視点の中から、SDGsを地域活動に活かす2つのトピックスをお届けします。

講師:入澤滋 氏

NPO法人まちだ自然エネルギー協議会
共同代表/パワーシフト市民アンバサダー

東日本大震災を機に「コンセントの向こう側」を意識し、エネルギーを自分ごととして考えるようになった。趣味は合唱(十八番は「O sole mio(私の太陽)」)。



2 SDGsを地域活動に活かしている事例

講座内では、SDGsに取り組んでいる様々なイベントもご紹介いただきました。ここでは2つの事例をご紹介します。自団体の活動にSDGsの視点を取り入れる参考にしてください。

地域のおいしく楽しいもの集合! 「あおばを食べる収穫祭」(横浜市青葉区)

エコ&サステナブルなマルシェや、地元の農家や飲食店等による地産地消商品の販売だけではなく、エコに取り組む人々によるエコアイデアの実践紹介などを実施。公用車FCV(燃料電池自動車)からステージの電源を給電したり、イベントで出るゴミは毎年45リットル袋1枚に抑えたりと実践的な成果も出ているそうです。

地域活動に活かせるポイント

- ✓ 地産地消を意識する (産地近くで消費し、流通過程で発生する温室効果ガスを削減)
- ✓ 飲食ブースでのリユース食器の使用
- ✓ マイ食器、マイバックの持参を呼びかけ
- ✓ ごみを極力少なくし、記録として公開してみる

ゴミ問題をテーマにした舞台! 演劇公演「found」

気候危機の現状を知った役者たちが、ゴミをテーマにした演劇作品を公演。衣装や小道具はレンタルやリユース品で揃え、公演チラシは必要最小限にし、環境負荷の少ない素材を選択。出演者・関係者もゼロウェイスト(※)を目指し、演劇本編だけでなく、環境活動家とのトークセッションも実施したそうです。※ 無駄や浪費を最小限にとどめて、ごみを出さないようにする取り組みのこと。

地域活動に活かせるポイント

- ✓ チラシの印刷部数や素材を意識する
- ✓ イベント備品のレンタルやリユースを検討する
- ✓ パワーシフト電力(自然エネルギー)を利用している会場を使う
- ✓ SDGsを企画のテーマに取り入れてみる

もっと
教えて

いりさわさん!

講座の中で紹介されたSDGsをもっと身近に感じる2つのQAをご紹介します。

Q 入澤さんがおすすめするSDGs実践最初の一步は何ですか?

A 今のあなたの暮らしが地球何個分かを知ることです。

持続可能性を測るバロメーターとして「エコロジカルフットプリント」という考え方があります。2022年、人類は地球1.75個分の自然資源を消費しており、世界の人々が日本と同じ暮らしをしたら、なんと地球2.9個分! あなたの暮らしはどうでしょう? ぜひ一度診断してみてください。(日々エネルギーについて意識をしている私でさえも、地球1.6個分なのです。)

NPO法人エコロジカル・フットプリント・ジャパン「診断クイズ」



Q SDGsに関心が薄い方へのアプローチはどうしたらいいですか?

A 楽しんだ後にその大切さに気付くイベントプログラムがおすすめです。

意識が「0」の人を「1」にするのは結構大変ですね。そういう場合、イベントなどでSDGsを楽しく体験した後に「SDGsって大切だったんだ」と気づかせるようなイベントプログラムの工夫や仕掛けがあるといいのではないかと思います。



サポートオフィスからの おすすめ情報

町田市には、まちだエコライフ推進公社が実施する無料でリユース食器や分別ステーション設営に必要な回収ボックスや机、いす、のぼりなど備品の貸し出しのほか、エコイベント実施に向けてアドバイスもしてもらえる制度があります。

Check!

一般財団法人
まちだエコライフ
推進公社



サポートオフィスのHPではSDGsに関するコラム連載やイベントレポートも掲載しています。

